

日本バレーボール学会設立 20 周年記念出版企画案

主題：「バレーボールの歴史」（仮称）

1. 現状分析と出版目的

日本バレーボール学会は 1995 年に発足いたしました。その基本理念は、我が国を取り巻く経済的問題や諸外国の国際競技力の相対的な向上という日本のバレーボールにとって決して順風満帆の状況ではない今日において、これらの苦境に少しでも科学的側面から風穴をあけ、それをきっかけとして我が国のバレーボールが少しでも前進するように、日本バレーボール学会が地道かつ確実な活動によって貢献しようというものです。その趣旨を踏まえ、本学会の主な活動としては 20 年間に亘り、毎年研究大会を 1 回、さらにはミーティング（以前は研究集会）を 1～2 回それぞれ開催し、また機関誌の発刊とニューズレターの発行を実施するとともに、10 周年記念行事としてはバレーボールを「心・技・体」の 3 側面から科学的に解説した『100Q 入魂』を出版し、さらに 15 周年記念行事としてはバレーボールを用語から理解するために用語解説集として『バレーペディア』の出版、また、子どもにも親しみやすいバレーボールをテーマとした DVD『Enjoy Volleyball ～遊びで動きづくり～』の発売、そして台湾：国立東華大学との連携による『2010 東アジアバレーボール科学会議』を開催するなど、多岐に亘る活動によってバレーボールの普及発展、科学的理解の向上に努めてきました。

そして、来る 2015 年に迎える学会設立 20 周年記念行事として、「バレーボールの歴史」に焦点を当てた専門誌を出版することを目標として、この企画案を作成しています。

約 120 年前に考案されたバレーボールというスポーツは、開発当初からその目的が明確に示され、それが今でも種目特性として引き継がれているという点では類をみないものであり、その発展ぶりや世界への広がりには驚くべきものがあります。特に日本においては明治末期に導入されて以来、学校体育を中心として 9 人制という独特の種目を発展させ、その地力を持って 6 人制に参入した後の世界での活躍ぶり（オリンピックでのメダル獲得を含む）は日本スポーツ界の歴史に残るほどに誇らしいものでした。しかし、残念ながら最近では諸外国の競技力向上にともないバレーボール界における日本の国際的な地位は低下傾向が続いており、それに呼応するかのように子どもたちのバレーボール離れが加速しているのも現状です。

そこで、日本バレーボール学会では国際競技力の向上や競技者人口の増加を支えるための地道な取り組みを続けるとともに、過去の歴史から学ぶこと、過去の歴史を保存することもバレーボールの今後の発展に必要であると考え、今回の企画に至ったものです。さらに、2020 年の東京オリンピック開催が決定した今は、過去の実績を顧みて将来を見据え、さらなる先に進むことのできるまたとない機会と捉えています。日本バレーボール学会の 20 年間の活動を集約するとともに、会員の英知を結集してバレーボールの歴史を掘り起こしてこそ、改めてバレーボールの過去・現在・そして未来を考えることができると考えます。

2. 出版に関する基本構想

バレーボール 120 年間の歴史には一通り触れるものの、主としては昭和 30 年以降の日本におけるバレーボールの歴史に重きを置き、さまざまな視点からその変遷を追っていく。

<構成案>

第1章 バレーボールの誕生から世界への広まり（1890年代～1920年ころ）

第2章 世界への広まりから6人制の完成、世界大会の開催（1920年～1950年ころ）

第3章 日本への伝来と普及そして発展（1900年代～現代）

第4章 さまざまな視点から見た歴史

○日本代表チーム

- ・東京オリンピック以前
- ・東洋の魔女
- ・ミュンヘンオリンピック
- ・モントリオールオリンピック
- ・その他オリンピック
- ・世界で活躍する選手の体格・体力の変化

○実業団バレーとVリーグ

- ・実業団バレー創設期
- ・Vリーグの発足～現在
- ・企業チームの衰退

○大学バレーボール

- ・創設期
- ・全日本大学バレーボール連盟発足
- ・第1回全日本大学選手権優勝
- ・1980年～1990年代頃の大学バレーと現在

○高等学校バレーボール

- ・創設期
- ・インターハイ
- ・春の高校バレー

○中学校バレーボール

- ・創設期
- ・全日本中学生選手権
- ・JOC ジュニアオリンピックカップ

○小学校バレーボール

- ・創設期
- ・スポーツ少年団
- ・ライオンカップ～ファミリーマートカップへの変遷

○ママさんバレー

- ・ママさんバレーの仕掛け人
- ・ママさんバレー参加者の変化

- ・ママさんとプレーヤーの両立

- ・ママさんバレーボーラーから生まれたスター選手

○ビーチバレー

- ・ビーチバレー誕生～発祥の地
- ・ビーチバレー競技会発足
- ・国内におけるビーチバレーの普及
- ・スタートから現在までの日本代表選手の活躍

○戦術の変化

- ・クイックスパイク
- ・コンビネーションバレー
- ・時間差攻撃，一人時間差攻撃
- ・レセプション，Wフォーメーションから現在へ
- ・攻撃的なサーブ
- ・リベロ
- ・バックアタック～3Dバレーへ
- ・多彩な攻撃・シンクロ

○ルールの変遷

- ・体のすべての部位でのボールタッチが可能に
- ・ブロックでのファーストタッチは3回にカウントしない
- ・サービス・エリアの拡大
- ・リベロプレーヤーの導入
- ・ファーストレシーブの規制緩和
- ・レセプション時のダブルコンタクトの廃止
- ・25点制ラリーポイント

○用具の変遷

- ・ボール
- ・コート，土のコートからタラフレックスまで
- ・ポール
- ・ユニホームの変化

